

決算報告

3億9,040万円の黒字決算

平成28年度の一般会計の決算額は、収入が273億6,600万円、支出が268億960万円となり、平成29年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は3億9,040万円の黒字となりました。

◎決算の状況（一般会計）

区 分	平成28年度	平成27年度	対前年度増減額
収 入 総 額	273億6,600万円	289億1,172万円	△15億4,572万円
支 出 総 額	268億 960万円	282億8,051万円	△14億7,091万円
差 引 額	5億5,640万円	6億3,121万円	△7,481万円
翌年度に繰越すべき財源	1億6,600万円	1億3,615万円	2,985万円
実 質 収 支	3億9,040万円	4億9,506万円	△ 1億 466万円



平戸の財政状況

市では、毎年2回「市の財政状況」を公表しています。
今回は、平成28年度決算の概要と平成29年度上半期の執行状況についてお知らせします。
問 企画財政課財政班 ☎内線2344

歳入の説明

市の自主財源は**25.2%**

歳入決算額は273億6,600万円で、前年度と比較して5.3%の減少となっています。減少の主な要因としては、平成26年度から大きく増加した「やらんば！平戸」応援寄附金が、全国的な「ふるさと納税」ブームにより自治体間の競争が激化したことなどにより大きく減少したことや、平成28年度から始まった合併算定替措置による普通交付税の縮減や臨時財政対策債の減少によるものが主な要因です。
また、このうち市税などの自主財源は全体の25.2%、地方交付税などの依存財源は74.8%を占めており、地方交付税などに大きく依存した構造となっております。

歳出の説明

歳出決算額は268億960万円で、前年度に比べて5.2%の減少となっています。主な要因としては、投資的経費の減少のほか、「やらんば！平戸」応援寄附金が前年度を大きく下回ったことに伴う積立金や物件費（寄附に対する返礼品など）の減少、義務的経費である扶助費の臨時福祉給付金給付事業の増加などが大きく影響しています。

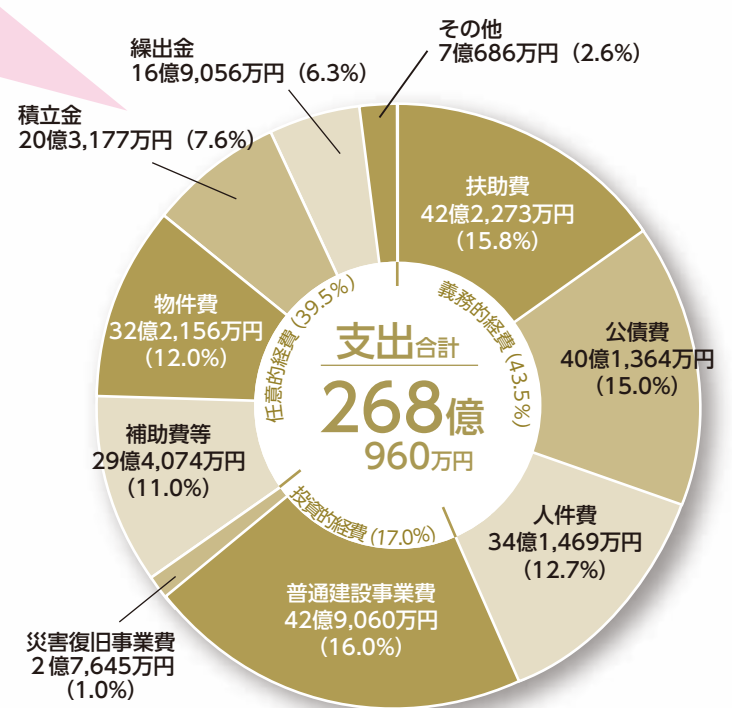
■市民1人当たりの額

昨年度支出した額を、市民1人当たりの金額で算出すると

82万5,775円を支出
※平成29年3月31日現在の人口で計算

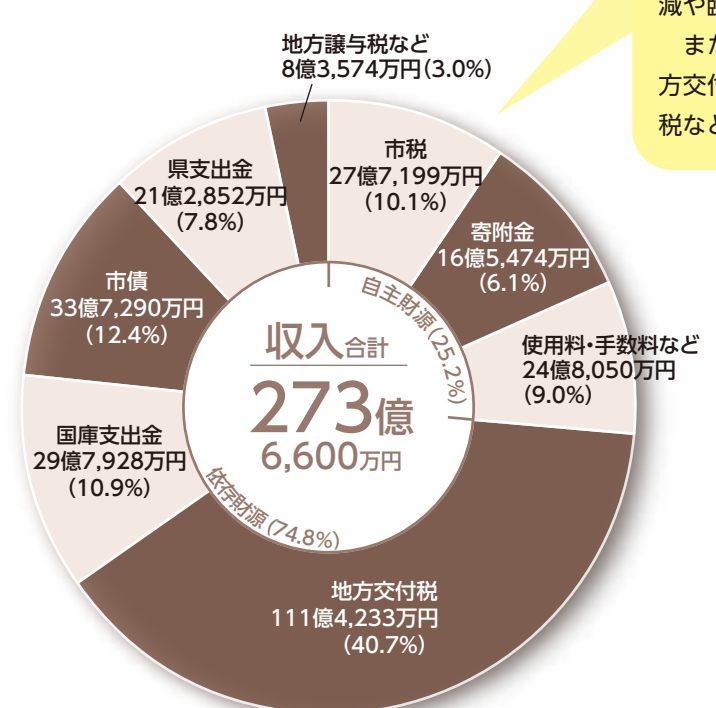
一般会計支出

◎支出の内訳グラフ（性質別）



一般会計収入

◎収入の内訳グラフ



■市税の内訳

区 分	金 額	増減率
市 民 税	11億4,561万円	3.0%
固定資産税	12億2,380万円	△0.3%
軽自動車税	1億1,403万円	15.7%
市たばこ税	2億1,832万円	△3.5%
都市計画税	4,707万円	1.6%
入 湯 税	2,316万円	△11.6%
合 計	27億7,199万円	1.3%

■目的税の使いみち

区 分	決算額
都市計画税	
市債償還(都市計画関係)	4,707万円
入湯税	
鉱泉源の保護管理施設整備	575万円
観光施設の整備	158万円
観光振興	1,583万円

■支出の目的別経費の内訳

民生費

福祉事業などに要する経費

67億5,387万円

総務費

管理事務全般、地域振興などに要する経費（ふるさと納税返礼品を含む）

52億9,976万円

公債費

借入金の返済に要する経費

40億1,364万円

衛生費

ごみ、し尿、病気予防などに要する経費

30億3,681万円

教育費

学校や図書館、文化振興などに要する経費

20億6,727万円

土木費

道路・住宅整備などに要する経費

18億859万円

農林水産業費

農林水産業の振興に要する経費

17億6,398万円

消防費

消防・防災対策に要する経費

8億2,327万円

商工費

商工業振興、観光振興などに要する経費

7億5,192万円

その他

災害復旧、議会運営、労働福祉事業などに要する経費

4億9,049万円



子育て支援

ーひとをそだてるプロジェクトー



保育料の軽減・・・1億3,408万円

保育料を国が定める金額より下げたことと、減額の対象となるきょうだい児の年齢制限を撤廃したことで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。

予防接種事業・・・7,972万円

接種費用の助成、対象者への勧奨通知、県内の医療機関で接種できる広域化事業、県外で接種した場合の償還払いの実施などにより、地域内感染の予防を図りました。

福祉医療給付事業(児童福祉)・・・5,503万円

子育て世帯の経済的負担軽減のため乳幼児から中学生・ひとり親家庭に対して医療費の助成を行いました。

ーまちをつくるプロジェクトー

地域情報化基盤整備事業・・・2億7,890万円

情報通信格差是正のため、民設民営方式にて光ファイバーの整備を行う事業者へ補助を行いました。

がん検診事業・・・4,131万円

胃・肺・大腸がん検診の65歳以上の人への受診料無料化や、乳がん、子宮頸がん検診の対象者の見直しなどにより、検診受診者数の増加を図りました。

移住定住環境事業・・・2,142万円

移住者や定住者の新規住宅取得費や中古住宅の取得費および改修費用などに対する補助を行いました。

移住定住の促進



その他の主要な事業

鄭成功記念館山門整備事業・・・2,822万円

鄭成功記念館の周辺環境充実化を目的として、山門、参道整備を行いました。



中部中学校校舎大規模改造事業・・・1億9,764万円

普通教室棟および特別教室棟の外壁・内装などの大規模改造工事を行い、生徒の安心安全な教育環境の改善を図りました。

平戸斎場施設整備事業・・・2億3,280万円

市内火葬施設の集約化を図るため、収骨室や待合室などの施設整備を行いました。

ふるさと応援寄附金推進事業・・・6億4,937万円

ふるさと納税のPRや寄附者に対するお礼の品の発送などを行いました。また、28年度の寄附額は16億5,284万円となりました。

平成28年度に
実施した主要な事業

昨年度、平戸市が実施した事業の中から、今回は特に大きな事業(主要事業)をご紹介します。

重点Point!

平戸市は、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とした「平戸市総合戦略」を策定し、人口減少抑制と地方創生を図るため、「しごと」「ひと」「まち」をキーワードとした4つの基本目標を設定し、その目標の達成に向け各種事業を推進しています。



雇用の促進

ーしごとをふやすプロジェクトー



中小企業振興対策事業・・・1億6,683万円

中小企業者などの経営安定による地域経済の活性化を図るため、中小企業者に対する融資制度や各種団体などへの支援を行うことにより事業活動の活性化を図りました。

創業支援対策事業・・・5,258万円

市内で新たに創業を行う人の支援を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図りました。

協働によるまちづくり支援事業・・・2,055万円

市民団体に対し事業委託、補助金及び交付金を交付し、団体の育成及び強化、市民が主体となったまちづくりを推進しました。

ーしごとをのばすプロジェクトー

平戸式もうかる農業実現支援事業・・・3,718万円

担い手の確保・育成、園芸振興、肉用牛振興を3つの柱とし、就農研修や施設整備、繁殖雌牛や肥育素牛の導入などに対する支援を行いました。

平戸地区家畜診療所大島駐在所等整備事業・・・1,664万円

大島駐在所へ常に獣医師を配置し緊急時にも対応できる診療体制を確保し、大島地区の繁殖農家の事故などに対する不安の解消および生産意欲の向上を図りました。

世界遺産登録推進事業・・・1,640万円

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録に向けた取り組みを行いました。

産業の振興





◎一般会計（収入）

区 分	予算現額	収入済額
市 税	27億5,019万円	10億7,902万円
地 方 交 付 税	104億9,900万円	70億5,450万円
分担金・負担金	1億8,654万円	6,291万円
国 庫 支 出 金	29億2,532万円	7億4,914万円
県 支 出 金	23億7,720万円	2億2,323万円
寄 附 金	20億 314万円	4億3,755万円
市 債	32億1,060万円	0円
そ の 他	51億9,588万円	10億3,156万円
収 入 合 計	291億4,787万円	106億3,791万円

◎特別会計

区 分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険（事業勘定）	58億9,169万円	20億5,701万円	25億0,258万円
国民健康保険（度島直診勘定）	7,711万円	971万円	3,488万円
国民健康保険（大島直診勘定）	1億 860万円	1,835万円	4,638万円
後期高齢者医療	4億3,384万円	1億2,129万円	1億2,657万円
介護保険（保険事業勘定）	44億4,910万円	17億6,447万円	17億9,764万円
介護保険（サービス事業勘定）	3,577万円	1,274万円	1,696万円
農業集落排水事業	1,854万円	98万円	497万円
宅地開発事業	450万円	402万円	15万円
あづち大島いさりびの里事業	1,228万円	6万円	735万円
電気事業	1,598万円	954万円	261万円
駐車場事業	440万円	372万円	196万円
工業団地事業	2億7,915万円	0万円	144万円

◎企業会計

区 分		予算現額	収入済額	支出済額
水道事業	収益の収支	9億5,695万円	4億4,921万円	1億9,668万円
	資本の収支	11億 286万円	5,988万円	2億3,095万円
病院事業	収益の収支	24億8,147万円	7億7,059万円	8億8,640万円
	資本の収支	1億7,532万円	4,228万円	8,580万円
交通船事業	収益の収支	1億9,891万円	8,049万円	8,485万円
	資本の収支	3億5,902万円	0円	900万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

◎市債の残高

（市民1人当たり**105万825円**）

※平成29年9月30日現在人口32,186人で計算

区 分	残 高
一般会計	268億7,060万円
水道事業	56億1,022万円
病院事業	11億6,854万円
交通船事業	893万円
国民健康保険（直診勘定）	1,041万円
農業集落排水事業	7,680万円
工業団地事業	7,634万円
合 計	338億2,184万円

◎一般会計（支出）

区 分	予算現額	支出済額
総 務 費	71億1,697万円	12億3,585万円
民 生 費	68億1,218万円	24億7,738万円
衛 生 費	27億1,148万円	11億5,201万円
農林水産業費	19億8,349万円	3億4,983万円
土 木 費	22億9,606万円	3億7,055万円
教 育 費	18億3,157万円	7億2,803万円
公 債 費	38億1,886万円	14億7,899万円
そ の 他	25億7,726万円	9億8,799万円
支 出 合 計	291億4,787万円	87億8,063万円

執行 状況

平成29年度上半期（4月～9月）

収入および支出の状況

平成29年9月30日現在



◎財産の状況

区 分	面積・金額
土 地	984万9,837㎡
建 物	25万6,534㎡
有価証券	1,355万円
基 金	131億4,431万円
債 権	4億 188万円
出 資 金	6,468万円
出 捐 金	1億 14万円

◎一時借入金の状況

平成29年9月30日現在は、ありませんでした。

※企業会計とは…

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

企業 会計

水道事業			
	収益的収支	収 入	10億2,764万円
		支 出	9億2,965万円
	資本的収支	収 入	9億6,347万円
		支 出	12億4,438万円

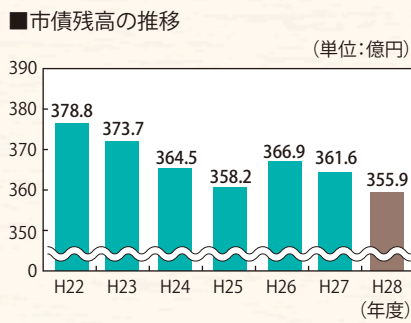
病院事業			
	収益的収支	収 入	24億8,365万円
		支 出	23億7,380万円
	資本的収支	収 入	1億9,332万円
		支 出	2億5,707万円

交通船事業			
	収益的収支	収 入	2億 262万円
		支 出	1億9,589万円
	資本的収支	収 入	0円
		支 出	2,638万円

※収益的収支・・・経営活動により発生するすべての収入と支出

※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

市債残高（全会計）



市債残高は5億7千万円の減少

市の借入金（借金）である市債残高は、平成26年度に実施した大規模な施設整備により一旦は増加に転じましたが、繰上償還の実施などにより減少傾向にあります。

今後も計画的な繰上償還の実施によりさらなる財政の健全化に努め、将来の公債費負担の軽減を図ります。

※特別会計とは…

国民健康保険は国民健康保険税で、介護保険は介護保険料でいったように、特定の収入で特定の支出を賄う仕事をまとめた会計です。

特別 会計

区 分	収 入	支 出
国民健康保険（事業勘定）	58億 780万円	58億 662万円
国民健康保険（度島直診勘定）	6,311万円	6,311万円
国民健康保険（大島直診勘定）	1億 18万円	1億 18万円
後期高齢者医療	4億2,112万円	4億1,961万円
介護保険（保険事業勘定）	42億2,550万円	41億7,016万円
介護保険（サービス事業勘定）	3,093万円	3,093万円
農業集落排水事業	1,233万円	1,233万円
宅地開発事業	747万円	747万円
あづち大島いさりびの里事業	1,246万円	1,246万円
電気事業	1,553万円	1,424万円
駐車場事業	519万円	440万円
工業団地事業	5,564万円	5,564万円

健全化判断比率と 資金不足比率

すべてにおいて判断基準内の財政状況

平成19年に制定された「地方公共団体の財政の健全化

に関する法律（財政健全化法）」により、毎年度、健全化判断比率などを算定し、議会に報告するとともに市民の皆さんに公表しています。平成28年度決算に基づく比率（指標）は、前年度と同様にいずれも国の基準（イエローカードとされる早期健全化基準）を下回り、財政状況は、おおむね健全であるといえます。各指標の改善は、平成19年度から実施している借入金（市債）の繰上償還によるところが大きく影響しており、今後も行財政改革の取り組みを継続し、引き続き健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率	説 明	平成 28年度	平成 27年度	国 の 基 準	
				早期健全化基準 （イエローカード）	財政再生基準 （レッドカード）
実 質 赤 字 比 率	一般会計などの赤字から財政運営の深刻度を見る指標	－	－	12.89%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る指標	－	－	17.89%	30.00%
実質公債費比率	借金の返済額の大きさから資金繰りの危険度を見る指標	6.9%	7.5%	25.0%	35.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る指標	－	－	350.0%	

※比率が生じない場合は「－」と表示しています。

資金不足比率	説 明	対象会計	平成 27年度	平成 26年度	国 の 基 準	
					経営健全化基準（イエローカード）	
	公営企業の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る指標	水道事業・病院事業・交通船事業ほか	－	－	20.00%	

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「－」と表示しています。

▼指数や指標など

実質公債費比率の部

実質公債費比率を家計にたとえると、家族全員の借金を合計すると、毎月のローン返済は大丈夫かな？

※比率が低いほうが上位 (％)

1. 横綱 知多市 (愛知) △2.8

1. 横綱 茨木市 (大阪) △2.8

3. 関脇 東大和市 (東京) △2.3

：

324 三段目 平戸市 (長崎) 7.5

(類似団体順位 119市中 14位)
(県内都市順位 13市中 8位)

■番付から見る平戸の財政状況

平成27年度決算における全国都市ランキングをみると、歳入については、自主財源比率で790団体中703番目、財政力指数は773番目、人口一人あたり市税は774番目と、全国の都市と比較して自主財源が少ない状況です。一方、歳出では普通建設費比率は197番目(県内では3番目)と比較的高く、積極的に施設整備などに投資を行っています。また、実質公債費比率などの抑制を図るため、市債の繰上償還を実施していることにより、前年度と比較すると実質公債費比率は345位から324位と順位も上昇しております。

平成27年10月に実施された国勢調査の最終結果(確定値)では、本市の人口は31,920人で、平成22年10月実施と比較すると2,985人(8.55%)と大きく減少しています。

人口減少の抑制が課題である本市では、現在実施している総合戦略に基づいた抑制対策を成果のあるものとするために、今以上の戦略的な取組を推進することと、またその財源『やらんば!平戸』応援寄附金(ふるさと納税)を積極的に活用しながら、経常収支比率等の抑制と併せ今後も「ふるさと納税」をはじめ新たな財源(自主財源)の確保についても努力していきます。



財政力指数の部

財政力指数を家計にたとえると、生活費を自分の力でどれだけ稼げるかな？

※ポイントが高いほうが上位

1. 横綱 浦安市 (千葉) 1.50

2. 大関 武蔵野市 (東京) 1.44

3. 関脇 神栖市 (茨城) 1.35

：

773 序の口 平戸市 (長崎) 0.24

(類似団体順位 119市中 108位)
(県内都市順位 13市中 10位)

▼その他(番外編)

人口増減率の部

(国勢調査H22とH27の人口を比較)

※比率が高いほうが上位 (％)

1. 横綱 長久手市 (愛知) 10.72

2. 大関 戸田市 (埼玉) 10.62

3. 関脇 つくばみらい市 (茨城) 10.51

：

747 序の口 平戸市 (長崎) △8.55

(類似団体順位 119市中 95位)
(県内都市順位 13市中 12位)

ふるさと納税の部

(H28年度の総務省公表資料より)
(都道府県・市町村1,788団体が対象)

※金額が多いほうが上位 (億円)

1. 横綱 都城市 (宮崎) 73.33

2. 大関 伊那市 (長野) 72.05

3. 関脇 焼津市 (静岡) 51.21

：

29 前頭 平戸市 (長崎) 16.53

(全国都市順位 790市中 21位)
(類似団体順位 119市中 4位)
(県内都市順位 13市中 2位)

平戸市の財政力は全国でどれくらい？

平戸市の財政番付(ランキング)

今回は、平成29年3月に総務省が公表した市町村別決算状況調(平成27年度決算)をもとに全国の自治体(全国都市790市、類似団体119市、県内都市13市)と比較した全国決算番付(ランキング)で平戸市の財政状況をみていきましょう!

なお、番付表記については下記により記載しています。

横綱 1位、大関 2位、関脇 3位、小結 4位、前頭 5～42位、十両 43～70位、幕下 71～190位、三段目 191～390位、序二段 391～590位、序の口 591～790位



▼歳入

市税(市民一人当たり)の部

市税を家計にたとえると、自分の給料はどれくらい？

※金額が多い方が上位 (円)

1. 横綱 豊田市 (愛知) 281,504

2. 大関 田原市 (愛知) 279,383

3. 関脇 みどり市 (愛知) 279,318

：

774 序の口 平戸市 (長崎) 82,389

(類似団体順位 119市中 112位)
(県内都市順位 13市中 11位)

自主財源比率の部

自主財源比率を家計にたとえると、自分の給料や貯金で、どこまで生活費を賄える？

※比率が高い方が上位 (％)

1. 横綱 みどり市 (愛知) 80.9

2. 大関 刈谷市 (愛知) 78.2

3. 関脇 長久手市 (愛知) 74.3

：

703 序の口 平戸市 (長崎) 26.6

(類似団体順位 119市中 74位)
(県内都市順位 13市中 7位)

▼歳出

経常収支比率の部

経常収支比率を家計にたとえると、家計のエンゲル係数(食費の割合)はどのくらい？

※比率が低いほうが上位 (％)

1. 横綱 妙高市 (新潟) 66.4

2. 大関 豊田市 (愛知) 66.5

3. 関脇 みどり市 (愛知) 71.0

：

216 三段目 平戸市 (長崎) 87.0

(類似団体順位 119市中 37位)
(県内都市順位 13市中 6位)

義務的経費比率の部

義務的経費を家計にたとえると、家賃やローン、食費の割合はどのくらい？

※比率が低いほうが上位 (％)

1. 横綱 陸前高田市 (岩手) 8.3

2. 大関 気仙沼市 (宮城) 9.1

3. 関脇 東松島市 (宮城) 9.8

：

121 幕下 平戸市 (長崎) 39.5

(類似団体順位 119市中 22位)
(県内都市順位 13市中 1位)

普通建設費比率の部

普通建設費比率を家計にたとえると、家の修理や増改築費の割合はどのくらい？

※比率が高いほうが上位 (％)

1. 横綱 潮来市 (茨城) 53.4

2. 大関 気仙沼市 (宮城) 52.8

3. 関脇 陸前高田市 (岩手) 50.3

：

197 三段目 平戸市 (長崎) 16.3

(類似団体順位 119市中 44位)
(県内都市順位 13市中 3位)